

不退転

第 197 号
東江中学校
校長 神元 勉

2年生へ進路講話

■中曽根 舞良(3年1組)



私は、検定の資格を持つていた方が高校の推薦が有利になると中学1年の時に知り、検定の資格は必ず自分のためになるし、持つていて損はないと思い、積極的に英検や漢検に挑戦しました。検定は簡単に合格できないし、何事も努力しないと結果につながりません。練習を積み重ねないとレベルアップできないし、目標を実現できないと思います。私は、勉強しても頭の中にちゃんと入っているか不安になることもあったし、勉強をやる気すら起こらない時もありました。そんな時は、目的をもう一度確認して、自分に負けないことも大事だと思いました。合格した時は、今までの努力は無駄ではなかったと思えるし、もっと上を目指したいと新しい目標もできます。そして、自分の取り柄にもなるので、3年間何回も挑戦できたことは、良かったと思います。

まだ、目標が決まっていなくても、まず自分が今できることを積極的に取り組むことが大切だと思つので、行動に移せるよう頑張ってください。

■前田 愛菜(3年2組)



私は、今回の推薦入試で名護高校を受験して内定をもらうことができました。

中学1年生の頃は、入試のことなど意識せずにもも考えないで過ごしてきました。中学校生活に慣れ始めると授業中の私語が増え、先生の話も聞かなくなりました。そのせいか、1年の後半にとても成績が下がってしまいました。2年生になり、進路のことを少しずつ考えるようになり、部活動が新チームになり、部活と勉強の両立ができなくなりました。このまま成績が下がると受験に影響が出ると思ったので、塾に入りました。塾で今まで楽しんでいた分を少しずつ補い、ようやくみんなについていけるようになりました。その時、1年生の時に頑張っておけば良かったと思いました。

2年生の皆さんも私と同じ思いの人がいると思います。今、後悔している人はチャンスです!!今から行動を変えればいいのです。私は、1年の頃の反省を生かして、3年生になり、後悔しないよう授業に集中して先生の話を聴くようにしました。皆さん、この言葉を聞いていますか?

「あとでやろーはバカヤロー」

この言葉は哲先生の口癖です。皆さんは、あと1年あると思つて安心して勉強を後回しにしていると思つますが、それはバカヤローです。だから、3年生になって焦らないように今を大事にしてください。

■比嘉 稜(3年3組)



私は、推薦枠で沖縄高専に合格することができました。私が沖縄高専を目指したのは、去年の4月頃でした。去年の3月に叔父が病気で40代の若さで亡くなりました。そして、献体されたと父から聞きました。それで、再生医療が進んでいる中、自分がさらに勉強したら病気に苦しんでいる人たちを助けることができるかと考え、パンフレットやインターネットで調べると、そのような研究が行えるのは、沖縄高専だと知りました。推薦はどの程度の成績があれば合格できるのか、どのような資格を取得するといったのかも調べました。

検定試験は、学校だけでなく、南部でも実施していることを知りました。数検準2級3回、漢検準2級、理検3回受けることができました。その結果、数検準2級1次、漢検準2級、理検準2級に合格しました。

私は、日々勉強に励み、推薦合格を手にすることができました。2年生の皆さんは、あと1年後だからといって授業を好き放題やっている、後悔します。だから、今からの授業を集中するかによつてこれからの受験にも大きく関わってきます。どれだけスポーツができたとしても、高校側は勉強もしっかりできる人を探りたいと思います。ですので、この1年が勝負です。これからどうするかです。頑張ってください。応援しています。